

【中学校 指導案】

1. 題材名「生活習慣病」(がんと健康)

2. 目標

がんについて、関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むとともに、自らの健康的な生活を実践しようとする態度を身につけることができるようにする。

3. 内容

(1) 教材観

本教材は、保健学習「生活習慣病とその予防」において、生活習慣病の一つであるがんはどのような病気か、また、がんを予防するための望ましい生活習慣とはどのようなものかを知り、さらに二次予防(がん検診等)の重要性も理解する。

(2) 指導観

健康の保持増進には、年齢、生活環境等に応じた運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要がある。生活習慣病などは、運動不足、食事の量や偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こることを踏まえ、がんについても、個人の生活や社会生活に興味を持ち、健康と命の大切さについて主体的に考えるとともに、思考・判断し、総合的に指導する。

4. 評価規準

(1) 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
・がんについて、学習内容に関心をもち、課題の解決に向けた話し合いや意見交換などの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	・学習した事をもとに、自己の生活習慣を見直すとともに、がんの予防するための生活習慣を考える。また、検診の重要性を理解する。	・がんの疾病概念や予防について理解することができる。

(2) 単元の指導と評価の計画 (a : 関心・意欲・態度 b : 思考・判断 c : 知識・理解)

時	ねらい	学習内容	学習活動	a	b	c	評価規準	評価方法
1	1. がんの特性や原因について理解を深める。	がんの原因と発生	○がんの原因はどのようなものがあるか考える。	◎			がんの原因について教材を基に調べようとしている。	観察
	2. 自ら健康的な生活を実践しようとする意欲をもたせる。	がんの予防	○がんの発生と進行について理解を深め、今の自分達にできることを考える。			◎	がんの予防について、学習した知識をワークシートに書きだしたり発表したりしている。	観察 成果物 観察
	3. がんの早期発見の重要性について知るとともに、検診の理解を深め、自らの健康生活の実践に生かせるようにする。	検診の意味	○がんの早期発見と検診について課題を、資料から読み取り判断し発表する。		◎		がんの予防、検診について理解したことを発表して書き出したりしている。	観察

【中学校 指導案】

5. 展開例 (第1時)

時間	主な学習内容・活動	PP 番号	○指導上の留意点 ◆評価
はじめ	<p>がんについてどんなことを知っていますか？ なぜ、がんについて学ぶのでしょうか。</p> <p>(1) 「がん」になる可能性が2人に1人であること、日本人の死因の第1位であることを確認する。</p> <p>日本ではどのくらいの人のがんになっているか知っていますか。</p> <p>(2) がんについてのイメージを確認する。 (3) 治る病気なのか、原因は何なのかなど、知っていることを答えてみる。 (4) 本時はがんについて、詳しく理解していくことを確認する。</p> <p>本時のめあて がんという病気を理解し、これからの私の実践に生かそう</p>	<p>PP 1 PP2 PP3 PP4 PP5  PP6  PP7 PP8  PP9</p>	<p>○授業はじめに、身近な方ががんに罹っていたり、亡くなったりしているかもしれないが、本時はがんのことを正しく理解する授業なので、知識をしっかりと理解することを伝える。 ○日本のがんの現状を確認する。</p> <p>○がんについての「怖い」などのイメージでしか捉えていないことに気づかせ、がんへの正しい知識や理解への興味・関心を高める。 (事前にアンケートをとり生徒の実態を把握することもできる。)</p>
なか	<p>がんの原因はなんでしょう。</p> <p>(1) がんの原因は大きく分けて3つに分類できる事、男女で原因が違う事を確認し、生活習慣の違いを考えてみる。</p> <p>(2) 細胞分裂の変異が、がん細胞に変異することから、がんは誰もがなりうる病気である、長生きしていても罹る事を理解する。</p> <p>(3) 原因の分からないがんもある事を理解する。</p> <p>がんの発生と進行について考えてみよう。</p> <p>(1) がんのしくみは細胞が変異することなので、全身にできる可能性がある事を確認する。 (2) がんの進行と自覚症状が出るまでの時間を確認する。 (Q 10年後は何歳？20年後は？そのときあなたの家族は？)</p> <p>( ワークシートの記入 )</p> <p>このグラフは何を示していると思いますか。 (1) ワークシートが何のグラフか考える。</p>	<p>PP10  PP11  PP12 PP13 PP14  PP15  PP16  PP17 PP18 PP19 PP20  PP21  PP22</p>	<p>○ウイルスや細菌による感染が原因で発生するがんがある事を理解し、予防接種等があることを理解させる。 ○男女の原因の違い、男女の生活習慣の違いについて考えさせる。 ○細胞の変異が原因である事を理解させ、長生きすることによって、変異の数が多くなることを理解させる。そして体のどの部分にも出来る可能性があることを知る。</p> <p>○また原因の分からないがんもあることを理解させる。(小児がん)</p> <p>○細胞の変異が原因である事から体のどの部分にも出来る可能性があることを知る。 ○がんの進行の時間を確認させ、これからの生活習慣の結果反映されるのが何年後であるかを確認させる。</p> <p>○検診での早期発見による治癒率の高さを理解させる。</p>

【中学校 指導案】

	<p>検診による早期発見で治癒率が高まるのはわかったが受診の現状を見てどう感じますか。</p> <p>(1) シート24を見ながら、気づいたことを答える。(ペア、又はグループ)</p> <p>(2) 沖縄県の受診率を確認し、全国と比較する。</p> <p>(3) 沖縄県の検診の目標値を確認する。</p> <p>(4) がん検診を受けない理由の状況を確認する。</p> <p>(5) がんにならない生活習慣を質問し、答えの確認をする。</p> <p>① たばこをすわない。          ② 飲酒をしない。          ③ バランスの良い食事をとる          ④ 積極的に身体活動をする。          ⑤ 適正体重を維持する。          ⑥ 検診を受ける。</p> <p style="text-align: right;">など。</p>	<p>PP23</p> <p>PP24</p> <p>PP25</p> <p>PP26</p> <p>PP27</p>	<p>○がんの受診率の状況(男女別)を確認する。</p> <p>○沖縄県におけるがん検診の受診率を確認させ、受診率が50%達していないことを説明する。</p> <p>○沖縄県としての目標値があることを説明する。</p> <p>○生活習慣が、がんになるリスクとどのように関係しているのか、具体的に説明する。</p> <p>○①～⑤の生活習慣が、がんになるリスクとどのように関係しているのか、資料の内容を用いて具体的に説明する。</p> <p>○⑥の早期発見が大切であることを理解させ、初期のがんは症状がないまま進行することが多いため、症状がなくても定期的に検診を受ける必要があることを理解させる。</p> <p>◆関心・意欲・態度(観察) 話し合いに意欲的に取り組もうとしている。</p> <p>◆思考・判断 理解した事をもとに、将来の自分の健康の姿を想像し、それに向けた生活習慣が出来るよう考える。</p>
<p>お わ り</p>	<p>今日学習したことを基に、今自分にできること、大人になってからできることを考えよう。</p> <p>(1) がんについて学習したことを振り返りながら、がんを予防するためにできること(検診も含めて)を今できることと、大人になってできることに分け、ワークシートにまとめる。</p> <p>(2) 本時の振り返りをチェックシートを使って行う。</p> <p>(3) 本時の感想をまとめ、ペアやグループで発表する。</p>	<p>PP28</p> <p>PP29</p> <p>PP30</p>	<p>○がんに対する正しい知識を確認する。</p> <p>○がんにかかっても、現代は「がんとともに生きる社会」であり、仕事や社会生活と並行して治療を受けることができる事を確認する。</p> <p>○時間があれば、感想などもまとめ、発表等を行う。</p>